

て て おうえん 手と手で応援しよう

とくべつごう
特別号

デフリンピック
について

デフリンピック 2025年夏季大会 開催地東京に決定

「デフリンピック」の100周年大会は東京で開催されます！
デフリンピックとは

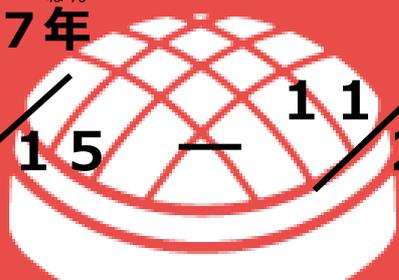
耳の聞こえないアスリートのためのオリンピックです。

デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。

デフリンピックは国際的な「ろう者のためのオリンピック」です。

れいわ ねん
令和7年

11 / 15 — 11 / 26



こまざわ とうえんそうごううんどうじょう
駒沢オリンピック公園総合運動場

ほか

おと
音がなくても

目で見てわかるような工夫



しかくほしょう
視覚保障

がされている大会

りくじょう たっきゅう
陸上 サッカー 卓球

バレーボール テニス

バスケットボール

バドミントン レスリング

からて じゅうどう すいえい
空手 柔道 水泳

じてんしゃきょうぎ
自転車競技

さまざま きょうぎ
などの様々な競技

ねんたいかい
2021年大会では
過去最高成績を受賞

すう
メダル数

きん 12

ぎん 8

どう 10

けい 30
計30個



さまざま くふう デフリンピックの様々な工夫



サッカー

笛の代わりに、副審だけでなく、主審も旗を持ち、シグナルを知らせます。

水泳

最後のターンの時に、水面にしぶきを立てて、知らせます。



空手

光でスタートや判定を知らせるため、フラッシュ機具を使っています。



デフリンピックってなに？

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。デフリンピックは国際的な「ろう者のためのオリンピック」なのです。

オリンピックと同じように4年に1度、夏季大会と冬季大会がそれぞれ開かれます。

ルールはオリンピックとほぼ同じですが、耳の聞こえない人のために様々な工夫がされています。

初めて開かれたのは、1924年フランスの夏の大会でした。その時、9か国、145人の

選手が出場しました。2017年に第23回目の夏の大会がトルコのサムスンで行われ、史上

最多の100か国・地域、約3,100人の選手が出場しました。

100周年大会は2025年夏に日本で開催されます。



©2017 一般財団法人全日本ろうあ連盟



©2017 一般財団法人全日本ろうあ連盟



©2017 一般財団法人全日本ろうあ連盟

「世界一の高みをめざして夢咲かせよう」

第23回夏季デフリンピックサムスン2017 (2017年7月18日から30日 トルコ・サムスン市で開催)

「耳」が聞こえなくても「目」でわかる方法とは？

スタートの合図など、「音」の代わりに「目」で見えるように合図を送ります。

デフリンピックのルールは、ほぼオリンピックと同じです。では、スタートの合図は、音でなく、どのように聞こえない人たちに伝えるのでしょうか？

デフリンピックでは、「耳」が聞こえなくても、参加者が不利にならないよう「目」でわかる様々な工夫がされています。目でおぎなうことを「視覚情報」と言います。

「目」でわかる合図

例えば、100メートル走のスタートの出発音。光がピカッと光る『フラッシュランプ』は、バスケットボールやハンドボールなど、様々なスポーツでも活用されています。

他にもサッカーやラグビーなど、審判の笛の合図はどのようにしているのでしょうか。

審判は笛を鳴らすとともに、旗をあげたり手をあげたりして選手には知らせます。選手が「目」でわかるように様々な工夫が整えられています。

続きはこちらから

このほかにも

- ・聞こえないとスポーツをする上でどんなハンディがあるの？
- ・どのような人が出場できるの？
- ・デフリンピックにどうやって出場できるの？

などのページを見ることができます。

出典：一般財団法人全日本ろうあ連盟HP

<https://www.jfd.or.jp/sc/deaflympics>

デフリンピックマークに関する一切の知的財産権は、国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)が管理しています。

手と手で応援しよう 令和5年3月 発行

編集・発行／板橋区福祉部障がい政策課

電話 03 (3579) 2361 FAX 03 (3579) 4159

協力／(一社)板橋区聴覚障害者協会

板橋区手話言語普及啓発事業 HP は [こちらから](#)

